

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 文化財としての国登録及び指定、部局横断的な情報共有や地域活性化の素材としての活用が進む

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a		0	0	0	0	0	0	
	実績b	0	0	データ等の出典					
	東北 全国	0 0	0 0						

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a		0	0	0	0	0	0	
	実績b	0	0	データ等の出典					
	東北 全国	0 0	0 0						

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由
 調査事業であり、事業効果は調査終了後であれば把握できない。

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)
 郷土食の付加価値や認知度の向上、学校教育の中でのさらなる活用が見込まれる。

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 郷土食の継承が困難になりつつあるため、県内の現況を把握し、主要な事例について調理・製造等の技術を記録することで、本県の郷土食の保存と活用を図る必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 人々の生活の推移を理解する上で欠くことができないものであるから、継承の必要がある。また、食は人々の関心が高いことから、調査結果を地域活性化等の素材とすることができる。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
 県全域を対象にした調査であり、統一項目で調査する必要がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他